

☆会社の在り方を伺えてとても興味深かったです。総合職という曖昧な職について少しイメージがわき、日々の学習を大切に、挨拶・笑顔が大事なことを学びました。

☆総合職という言葉は聞いたことがあったけど、論理的思考・責任感・バランス感覚等が必要であり、相手の気持ちを理解するコミュニケーション力が必要だと知って良かったです。

☆最初にホワイトカラーの話、次にホワイトカラーと総合職の関係、最後に総合職に就く一人の人間として社会に出た時に大切なこと、という3部構成が論理的であり、とても有意義な時間を過ごせました。

☆街を歩いていてスーツ姿の人が多く感じるの、日本人が「制服」が好きだからと思っていたが、実際には「総合職」というものが存在し、総合職の制服がスーツである事、作業服を「制服」とする「専門職」の人数が総合職に比べて少ない事によることを理解できた。

☆今は学生として社会でどのように振舞い、どんな格好であればよいのか考えてもいなかったが、今回の講義で今の社会での振舞方などについて学ぶことができてよかった。しかしなぜそのような格好でいる必要があるのかなど、まだよくわからないので、もう少し理解できるように社会での常識的なことをもっと知りたいと思った。

☆将来「管理職」というものに就こうとしていて、総合職に必要なことなどを学べて、夢に近づけた気がしました。

☆社会に出て、最も大切なことは挨拶と笑顔で、挨拶で第一印象がほぼ決まることを学んだ。国語力・コミュニケーション力を上げて、相手の気持ちを理解できるようになることが重用であることを学んだ。

☆今まで、総合職という言葉聞いたことはありましたが、一般職などと何が違うのかまでは知りませんでした。何のためにあり、何をするのか、その先に何があるのかまで詳しく知り、今後どうしていくべきかを考える機会になりました。

☆総合職という言葉聞いたこともなく想像もしていませんでしたが、総合職という人たちは日本の経済にとって大切で企業の柱だとわかりました。挨拶と笑顔を忘れないように社会に出ていきたいと思います。

☆先生自身の体験に基づいた話で、とても分かりやすかったです。今回の講話を聞いて社会に出ていく時のイメージが何となく理解できたと思います。

☆総合職という職そのものを殆ど知りませんでした。女性の社会進出によって分けられた経緯、また、社会に出て大切なことはコミュニケーションや挨拶、笑顔といった、普段意識することの少ない基礎的なものであることを学ぶことができました。

☆社会に出ていく上で必要なパスポートのようなものが、挨拶と笑顔ということを理解できました。

☆総合職という職業に対して疎遠なイメージがありましたが、管理職になることを期待されている人と聞き、少し身近に感じました。世の中では「学歴」はあった方がよいが、学

歴だけでなくコミュニケーション力や理解する力が必要であり、大切であると聞き納得できました。

☆最も興味を持ったのは、面接官の経験から会社側が求める人材についてでした。学歴はあって損はないと思っていたが、更に、コミュニケーション力は、理解力・伝える力・思考力・相手の気持ちを考える力、などの多くの能力が合わさってのものだと学びました。私は、コミュニケーション・挨拶・笑顔が全て苦手なので頑張りたいと思います。

☆たったの1時間でここまでわかりやすく「総合職」という職業を教えてくださいました。

☆総合職についての情報の他に、日本社会の基本的な情報も知ることができました。

☆社会にでる為のスキルを今のうちから高めていくことが大切だということ、挨拶をきちんとできること、笑顔で接することなど、日頃当たり前の行いをしっかりすることが大切だということを学びました。教養学部を卒業した方の就職先が気になっていましたが、総合職という仕事に就職することもあるのだなと思いました。